

ペットライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣医のカルテ



43



吉田動物病院
 (射水市小島・大島)
阿部 素子

犬の心臓病の中でも、症例の多い疾患に、僧帽弁閉鎖不全症があります。せきや疲れやすくなるなどの初期症状が現れ、進行すると呼吸不全が起こります。

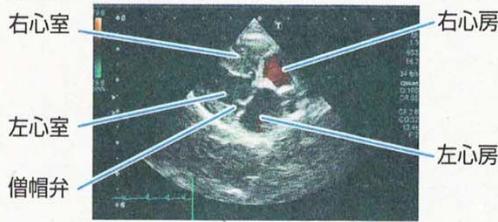
僧帽弁は心臓の左心房と左心室の間にあります。この弁が変性して厚くなったり、弁をつなぐひも状の組織「腱索」が伸びたり切れたりしてきちんと閉じなくなり、左心室の血液が左心房に逆流する病気です。

左心房は肺からの血液が入る部屋です。その血液と、逆流してくる血液の両方を受け取るため、肥大していきます。進行すると左心房の圧力が上がり、左心室にも負

僧帽弁閉鎖不全症

犬の心臓エコー画像

①僧帽弁逆流のない正常な犬



左心房には逆流がないため、色につかれないか、わずかに赤くなるくらい

②僧帽弁逆流のある犬



左心房（中央の虹色部分）は弁が閉じきっていないため血流が乱れ、肥大化している

外科手術も選択肢

担がかるため、さらに左心室が肥大します。

また肺で血液が滞って、本来空気が入るための場所に液体が溜まり（肺水腫）、呼吸しづらくなります。最悪の場合は命を落とすこともあるので注意が必要です。

この病気には治療ガイドライン

があり、重症度に応じてステージ分類しています。アメリカ獣医内科学会（ACVIM）が出したもので、2019年に改訂されました。

以前のガイドラインでは僧帽弁逆流があり、心臓肥大が見られるものの、肺水腫になっていない場

合、最初の処方薬として血管拡張薬を推奨していました。

新ガイドラインでは、左心房と左心室の両方に拡大がみられた場合、血管を広げる効果と心臓の動きを良くする効果を併せ持つ薬の使用を推奨しています。この薬を肺水腫になる前に使い始めることで、肺水腫になるまでの期間がかなり延長されるという研究結果が出たからです。

また、外科手術による治療も選択肢に入りました。実施できる病院に限られる上、リスクや術後管理、費用の問題もあり、簡単に選べるものではありませんが、成功すればかなりの確率で改善できます。

どのステージに当てはまるのかを適正に診断することで、効果のある治療ができます。この病気と診断された際には獣医の検査を受けていただくことが、心臓をより良い状態に保ち、長く共に過ごすことにつながると考えます。